



株式会社 富士山マガジンサービス

株式会社Fujisan Academia Groupによる 受験Vアカデミー事業譲受完了のご報告と今後の戦略

2026年10月9日(金)収録



2026年10月 1 日付 事業譲受



- 九州において17拠点を展開する学習塾を運営する株式会社受験Vアカデミーの集団塾事業、株式会社Vネットワークが展開するシェーン英会話のFC事業、幼児教室EQWEL事業の譲受完了
- ブランド名を「Academia」に変更。既存校舎の看板は順次付け替え
- 当社グループが強みとする医学部向けのプロ講師による個別指導、集団演習授業プログラム（「精鋭オンライン」）を新たなプログラムとして展開



個別戦略学習塾 **Academia**

個別戦略学習塾 Academia

医学部・難関大学専門予備校 中学生 高校生 高卒生 翔進予備校			
 Fujisan Academia Group Academia			
	学習・受験指導	英語教育 (ミリカとの連携)	情報教育 (AI・プログラミング)
シェーン英会話 	高等部 ・自学自習の確立 ・学習量管理 ・日常学習・定期テスト（内申対策） ・個別戦略・大学受験指導（総合型・学校推薦型・一般選抜） ・進路ガイダンス	・英検対策 ・WET	・情報AIドリル
	中学部 ・勉強の仕方 ・習慣 ・日常学習・定期対策 ・個別戦略・受験指導 中高一貫校向け指導	・英検対策 ・WET	・トイプロ
	小学部 ・勉強の仕方 ・習慣 ・日常学習 - 個別戦略・市内受験指導	・英検対策 ・WET	・V-code ・ロボットプログラミング ・KIDSプログラミング
EQWEL 幼児教育  EQWEL CHILD ACADEMY			

- 地元密着型・高校受験主体の塾に対して難関大学・医系学部向けのコンテンツを提供することで「共存共栄」を図ることがAcademiaの事業目的
- 九州で成果を上げて、他の地方圏に同じモデルを展開していくことを目指す
- 生徒管理は地元密着型の塾、講師、教材、受験情報の提供をAcademiaが担う

Fujisan Academia Groupポートフォリオについて

➤ M&Aにより取得した各社の役割と展望

①Create Education Online株式会社(沖縄)

投資額 76.3百万円(FA費用含む)

役割 オンライン自習室の仕組み

FC教室向け オンラインTA(Teaching アシスタント)

	2024年	2025年
売上高	47,573	160,685
セグメント利益	-33,721	-20,240

単位: 千円

②翔進・Academia(横浜、センター北)

投資額 20百万円(FA費用含まず)

役割 医学部受験ノウハウ、プロ講師の募集、管理

③クリエイト研究会株式会社(大阪府茨木市 ミリカグループ)

投資額 25百万円(FA費用含む)

役割 医学部、京大、大阪大学を始めとした難関大学向け英語教材、英検コンテンツ開発、提供

関西エリアにおける難関大学向け個別指導・医学部専門予備校としての拠点

④株式会社受験Vアカデミー、株式会社Vネットワーク、株式会社ブイ管理システム(九州)からの事業譲受

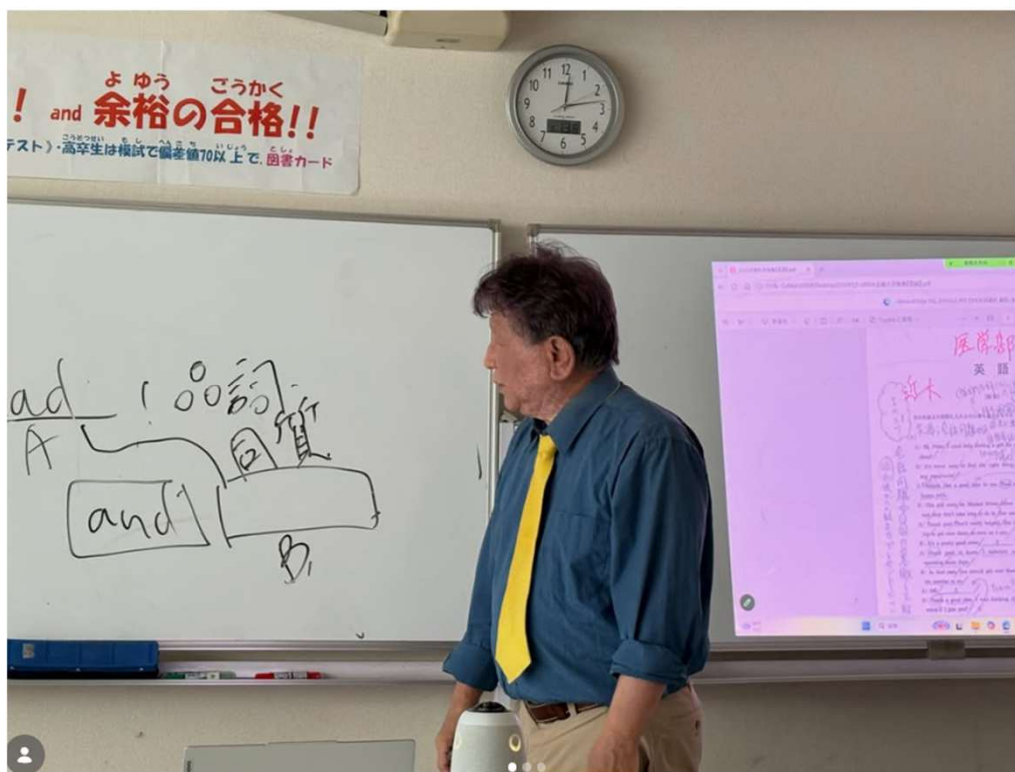
投資額 非公開

役割 翔進・Academiaの持つ大学受験ノウハウを高校受験に強い受験Vアカデミーの集団塾部門に展開

| 2026年10月 グループイベント紹介



第5回 入塾・医学部エントリーセミナー開催（茨木市 ミリカグループ）



- 日時: 2026年11月12日(月)
- 場所: 茨木市駅前 SOCIO第2ビル
- 時間: 14時00分～
- 主な内容
 - ・当塾グループの紹介
 - ・関西医学部セミナー
 - ・福岡歯科大学について
(代表による学校訪問紹介)

その他イベント関係

- 2026年11月3日(火曜日) ミリカ予備校 近畿大学医学部 推薦入試直前対策講座
- 2027年1月1日～1月3日 九州Academia 福岡大学・西南学院大学直前特訓講座
- 翔進予備校 オンライン医学部入試説明会(詳しくは翔進予備校HPまで)
- 翔進予備校 「弱点補強1日特訓講座(完遂特訓)」(詳しくは翔進予備校HPまで)

お問い合わせは校舎、または、以下のHP問い合わせページからお願いします。

[Fujisan Academia Group - 個別相談・無料体験申込み](#)

- 本書には、当社に関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により、実際の業績が本書の記載と著しく異なる可能性があります。
- 別段の記載がない限り、本書に記載されている財務データは日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。
- 当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- 当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。